**なかにし　礼（なかにし・れい）**

昭和13年、中国黒龍江省牡丹江市生まれ。22年から28年まで青森市在住。作詩家として「知りたくないの」「今日でお別れ」「石狩挽歌」「時には娼婦のように」「北酒場」など約四千曲の作品を創る。その後、作家活動を開始、平成10年『兄弟』。次作『長崎ぶらぶら節』で12年第122回直木賞受賞。13年『赤い月』、14年『てるてる坊主の照子さん』などの作品がある。舞台作品の台本・演出も手がける。

当館特別展「平成の青森文学」図録（平成30年7月14日発行）より